

生きがい

第59号

発行 平成27年1月1日
(公社)上越市シルバー人材センター
本所 上越市西城町1-12-4
Tel. 025-522-2812
頸北支所 上越市柿崎区柿崎6405
Tel. 025-536-6100
編集 広報対策部会
印刷 (有)かがやき

迎春

2015



「春を待つ」(高田城跡公園にて) (撮影者: 広報 木村)

年頭にあたって



理事長 富所 博

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに良き新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年末はアベノミクスの評価を問う衆議院議員選挙が急遽実施されたところですが、一部の分野においては経済状況に明るみ兆しが見えるものの、日常生活では先行きの不透明な状況が続いております。

我が上越市シルバー人材センターにおいては、景気動向の低迷等から、依然として受注件数や会員数の減少は見られるものの、幸いにも事業実績についてはほぼ横ばいの水準を維持しております。

こうした中、国においては生涯現役社会の実現に向けた高齢者の活躍を促進する施策に取り組んでおり、身近な地域での就業の場を提供するシルバー人材センター事業に対する活動支援の方向性も示されております。

このような社会情勢の変化に乗り遅れることなく、これを好機と捉え自ら積極的な事業展開を図ることが必要であり、そのためには会員一人ひとりの事業への参画意欲が一層強く求められております。

高齢者の生きがいづくりの拠点として、会員が集い活気あふれるシルバー人材センターを目指して役員一丸となり全力で努めてまいりますので、会員の皆様からも一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、会員とご家族の皆様の「ご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年のびあつわい



上越市長
村山 秀幸

新年あけましておめでとうござ
います。

皆様におかれましては、希望に
満ちた輝かしい新春を健やかに迎
えられたことと、お喜び申し上げ
ます。

シルバー人材センターにおかれ
ましては、市町村合併に伴う統合
から本年四月で十年を迎えられま
す。関係の皆様が多なるご尽力、
ご努力のもと、多くの会員の皆様
が活躍され、高齢者福祉の増進や、
地域社会の活性化に大きな役割を
果たしていただいていることに、
深く敬意を表するとともに、心か
ら感謝を申し上げます。

国の調査によると、六十歳以上
の人の六一%が何らかの自主的な
グループ活動に参加し、趣味や学
習に打ち込むことに加え、積極的
に社会と関わりながら活躍されて
います。今、高齢者の皆様がそれ
ぞれの生きがいを持って、心豊か
な生活を送るための様々な機会が
求められているのだと思います。

現在、平成二十七年からの第六
期介護保険事業計画・第七期高齢
者福祉計画の策定を進めておりま

この計画では、高齢になっても住
み慣れた地域で、それぞれに自立
した日常生活を営むことができる
よう包括的な支援やサービスを提
供する体制の構築に努めることとし、
その具体的な取組の一つとして生
きがいや介護予防につながる社会
参加の促進を挙げております。

会員の皆様の中には、働くこと
を通じて積極的に社会と関わりな
がら、生きがいを見いだされてい
る方もいらつしやると思います。
シルバー人材センターが担う役割
は、とても大きなものであると考
えております。

十四市町村の合併から、十年が
経ちました。また、三月十四日には、
待望の北陸新幹線長野・金沢間開
業の時を迎えます。市民がふるさ
とへの愛着と誇りを胸に、共感と
一体感を持って新たな百年のまち
づくりに向かう時であります。

会員の皆様におかれましては、
これまで培ってこられた豊富な知
識や経験、技能を活かしながら、
これからも積極的に社会に参加され
、充実した生活を送られることも、
次の世代にその知識や技術を伝え
ていただくことを願っております。

結びに、上越市シルバー人材セ
ンターのご健康、ご多幸、更なるご
活躍を心から祈念申し上げ、新年
のご挨拶いたします。

第5回
就業先拝見

こんな仕事をしています



大仕事だった、
田のヒエ取り
渡辺 章雄
(大潟区)

今回、頸城区の仕事で田のヒエ
取り、自分でも昭和四十六年まで
田を耕しておりましたので、軽い
気持ちで引き受けました。

さて、ヒエ取りの田に行つてビツ
クリ、稲の丈より伸びたヒエが田
の面積の半分くらいにビツシリと
生い繁つていました。これは大仕
事だ、えらい仕事を引き受けたも
のだと思いました。仕事に掛かる
前に皆で怪我の無い様にと話し合
い、気持ちを引き締め、六人でヒ
エ取りを始めました。鎌を持つ手
にも力がこもり、三、四株の手持
ちで始めましたが、あまりの多さ
に向こうの畦まで昼になつてもた
どり着かない、予想以上のヒエで、
三反の田に六人が二日かかつても
終わらず、一時間延長してやつと



終了。運び
出したヒエ
の量は軽ト
ラック三台
分余り、今
年の中で思
い出に残る
仕事でした。



早朝の駐輪場
整理
潤間 淳浩
(昭和町一)

朝から散歩するつもりでこの仕
事を引き受けました。平成二十三
年十二月からだと思ひます。七時
頃自転車が高田駅前交番隣の駐輪
場に向かいます。作業内容は前夜
から放置された自転車を空きゲー
ジに収めたり、ゲージに入らない
ものは通路に綺麗に並べたりする
仕事です。その他通勤通学の利用
者を空いている場所に誘導し、ま
た電車が到着して学校に向かう生
徒さんが自転車を出す手助けをし
ています。そしてひと段落する

もう一か所の仲町四丁目空地駐輪
場の整理です。これを朝七時半か
ら一時間、四名のメンバーが交代
で働いています。この仕事のため
に毎朝五時に起床、特製ジュース
を飲んで出
かけます
が、これか
ら健康に
気を付け、
体力の続く
限り働きた
いと思つて
います。



写真で振り返るシルバーこの1年



ソーイング講習会 7/24



松の剪定講習会 6/25



ハウスクリーニング講習会 9/26



収穫体験・料理教室 9/18



市長への要望 8/30



冬囲い講習会 10/16



南三まつり出店 9/28

フリーマーケット



シルバー野菜販売所（本所前）



換張り講習会講師派遣 12/3

役員視察研修（富山県） 11/11



県連合会による安全・適正就業パトロールを実施

昨年十一月十四日金、新潟県シルバー人材センター連合会による安全・適正就業パトロールが行われました。当日は桜井事務局長が来所、センターの安全への取組状況や安全委員会の活動状況について聴き取りを行い、その後冬囲い就業現場を巡回されました。桜井局長から、安全委員会を実施するパトロールについては、各班へ通知・指導するだけではなく就業会員全てが同じ意識を持って作業するよう、全体会議などで情報の共有化を図るよう指導がありました。

今回のパトロールの結果、使わない三脚は立て掛けておかず、倒れないよう寝かしておくようにとの指導があり、また安全帯の装着、ゴム製地下足袋の使用については評価をいただき、引き続き事故防止に努めるよう話がありました。

今年度は十一月末現在、傷害事故六件、賠償責任事故七件、労災事故一件の合計十四件の事故が発生しており、昨年同期の八件を大きく上回っております。新年を迎え気持ちも新たに、より一層安全就業を心掛けていただきますようお願いいたします。



清掃ボランティア
吉田 勝美
(柿崎区)

今回は上下浜地内マリンホテルハマナスから老人福祉施設に至る海岸道路周辺の清掃を行いました。この区間は四日後の百キロマラソンのコースになるということもあり、参加者一同、より精力的に作業に取り組み、環境美化を図りました。

私は今回初めての参加でしたが、この活動について二つの意義を感じました。本来の目的である「地域貢献を通してシルバー事業の普及啓発を図る」ということと、活動の結果として「共同作業を通して会員同士の連帯強化が図られる」ということです。

参加された諸先輩方の明るくて前向きな姿が印象的でした。日頃の就業活動で培われた成果でしよう。



福祉施設ボランティア

(福祉サービス部会)

市内三カ所の福祉施設で、車椅子清掃、ガラス拭き、布切り、カーテンの洗濯・取り付け作業を延べ四十七名の会員の皆さんにご協力をいただきました。車椅子の清掃ではタイヤの空気入れも行い施設の方に大変喜ばれました。次回もたくさんの方の会員の皆さんの参加をお待ちしています。



各種活動に参加して

(会員の皆さんの声)

ハウスクリーニング講習



山本 節子
(東本町五)

掃除の講習会はプロの方から習いました。実習はトイレと窓ガラス拭きでした。洗剤選びが大事で便座を中性洗剤でなく酸性洗剤で拭くとコーティングを溶かすことも！ ガラス拭きでは洗剤水で濡らした布でガラスを拭き、窓ワイ

パーで上から下へ擦ると二度拭き要らずピカピカです。また、入浴後、毎回シャワーを

かけ換気してカビ予防、頂いた資料も参考になり得た気分になりました。



調理講習



小林シサ子
(西城町三)

この度、シルバー主催で旬の大根を使った調理講習がワークパルでありました。以前より料理には深く関心があり参加しました。当日は五名の班に分かれ講師の飯野先生に丁寧な教えていただき、楽しく、美味しい料理が作れました。メニューは大根餅、大根ステーキ、ブリと大根のミルク粕汁、大根菜の混ぜご飯でした。私は十月に入会しましたが、作った料理の試食をしながら先輩会員さんの経験談を聞かせていただきました。調理講習に参加し多数の会員と触れ合いました。これからも健康に留意して仕事に頑張りたいです。



「障子張り技術講習会」のご案内
受講者を募集します

センターでは新たに障子張り作業に従事する会員を養成するため、「障子張り技術講習会」を開催します。障子張りは技術を要する仕事のため、受講後はベテラン会員の下で実地訓練をおこない、一定水準の技能を習得したうえで独立就業していただきます。

シルバー障子張りの技術を継承してくださる、根気とやる気のある方のお申込みをお待ちしています。詳細は次のとおりです。

◆開催日時

平成二十七年二月十日(火)

午後一時半～四時半

◆講習会場

センター本所作業所(西城町二)

◆申込定員

八名

◆その他

車を運転される方で男女は問いません。



◆申込み受付開始

一月二十六日(月)から行います。

定員になり次第締め切ります。ご希望の方はセンター事務局(52-2812)にご連絡ください。

シルバー会員互助会通信

★納涼会

シルバー人材センター会員互助会の今年度最初の行事である納涼会を、八月五日(火)ホテルハイマーを会場に開催しました。納涼会は今年初めての開催で、上越市関原副市長にもご出席いただき、会員七十八名が出席し相互の親睦を図りました。



★研修旅行

十月二日(木)、三日(金)の二泊二日で山梨県石和温泉郷への会員研修旅行を実施しました。

今年では会員六十八名が参加し、好天の中、サントリア白洲蒸留所やリニア見学センターなどを訪れ、交流の輪が広がりました。



リニア見学センター



自州蒸留所

★清掃ボランティア活動

十月の「全国シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせて八日(水)と十七日(金)の二日間、シルバーの清掃ボランティア活動として、大潟区、高田、板倉区の三つの会場で合計八十三名の参加をいただきました。



板倉



頸北



高田

来年もより多くの皆さんの参加をお願いします。

★忘年会

平成二十六年最後の行事である忘年会が十二月十日(水)、大潟区の鶴の浜ニューホテルを会場に開催されました。

当日は会員など八十六名が出席し、一年間の互助会活動を振り返りながら新たな年に向けて会員相互の交流を深めました。

当日は市議会開催中にもかかわらず、村山市長の代理として八木高齢者支援課長から御出席いただき、市長からの激励の言葉を披露いただきました。



ご冥福をお祈りいたします

互助会規程に基き、亡くなられた会員へ弔慰金を支給、幹事がお届けしました。

(弔慰金)

★平成二十六年六月二十五日

故若井俊雄様(北城三) 68歳

★平成二十六年十一月二十五日

故池田一三様(中通町) 79歳

*機関紙第五十八号掲載以降の方

☆幹事会等の開催状況

○第一回 二十六年四月十六日(水)

・定時総会議案書について 等

○第二回 二十六年六月十二日(木)

・納涼会について 等

○第三回 二十六年七月一日(火)

・研修旅行について 等

○第四回 二十六年十一月二十七日(木)

・忘年会について 等

*この他、会長・事務局長会議等を随時開催しています。

設立二年目の主な行事が予定通り終了しましたが、行事によっては参加者が少なく運営の難しさも感じています。昨年度の地域懇談会で何った改善案を参考に、来年度も試行錯誤しながら会員の皆さんが参加しやすい互助会活動にしていきたいと思っています。(互助会事務局)

事務局だより

<配分金と税金について>配分金収入に対する所得税法上の取り扱いについて

会員の皆様が受ける配分金は、所得税法上「雑所得」とされ、受け取った配分金収入は期間内(2月16日～3月16日)に確定申告をする必要があります。

配分金収入に対しては、「家内労働者等の事業所等の所得計算の特例・租税特別措置法第27条」より、65万円を上限として最低保証必要経費が認められます。

なお、配分金収入と給与所得(シルバー派遣による賃金)がある場合は、65万円から給与所得控除額を控除した残額が配分金に係る必要経費となります。

また、公的年金を受給している場合は、配分金収入とは別に公的年金等の控除が受けられます。

【計算例示】 ※会員A(66歳)の年間収入は次のとおりでした。

- ① 配分金収入 70万円
- ② 給与収入 50万円(シルバー派遣による賃金)
- ③ 公的年金収入 130万円

計算方法 (1) 配分金収入及び給与収入に係る計算

- ・給与収入(50万円) - 給与所得控除額(50万円) = 0円 (A)
- ・配分金収入(70万円) - 必要経費(65万円 - 50万円) = 55万円 (B)

(2) 公的年金に係る計算

- ・公的年金収入(130万円) - 公的年金等控除額(120万円) = 10万円 (C)

※公的年金等控除額は、受給者が65歳未満と65歳以上が異なります。

(A) + (B) + (C) = 0円 + 55万円 + 10万円 = 65万円

- ・所得金額(65万円) - 基礎控除(38万円) = 27万円

- ・課税所得金額(27万円) × 税率(5%) × 復興特別所得税(102.1%)

= 13,700円(100円未満切捨て) … 税額

◆配分金収入、給与収入、公的年金収入以外の収入がある場合の所得金額及びその他の控除額については、高田税務署(電話523-4173)へおたずねください。

役員の視察研修を実施

昨年十一月十一日(火)にシルバーの理事・監事による富山県富山市及び高岡市への先進地視察研修を実施しました。富山市では安全就業に向けた取組として、事故の削減をめざし今年度から実施している免責額の引上げやペナルティー制度の仕組みと成果についてお聞きし、引き続きアンテナショップの運営状況を視察研修しました。



高岡市アンテナショップ



富山市アンテナショップ

会員数

(12月31日現在)

1,238名

(男908名
女330名)

本所 950名

頸北支所 288名

地域懇談会の開催について

また高岡市では昨年十月に新規オープンしたアンテナショップ「シルバーショップたかおか」を視察し、開業までの苦労話や運営状況についてお聞きしました。当シルバーでも今後、こうした取組について研究したいと考えています。

毎年開催している地域懇談会を本年も開催します。地域懇談会は、会員の皆さんからシルバー事業の運営や互助会活動に対するご意見をお聞きする大切な情報交換の場です。日程が決まり次第、地域班長を通じて案内文書でお知らせします。是非、ご出席ください。

あともがき

大雨、台風、噴火、地震など昨年は災害の多い年だった。しかし、日本には戦争という大災害はなかった。今春には北陸新幹線が開業となり、何かいいことがあると期待したい。

人は希望という力で明日に向かって歩ける。がんばりましょう。(広報対策部会長 池田)